

第9講 展示の進行管理 1 2170

0. 札幌見学レポート^{回収} **骨三昧、骨ざんまい**

1. タイトル

1) 留意点

博物館実習テキスト「第2回：農大口ビー展2022のテーマと資料」を参照

2) 今回の農大口ビー展

2. グラフィック

1) 目的

資料の文書による解説、資料の拡大写真など資料の視覚的理解の補助

2) アプリ

ワードやイラストレーターなど「印刷を前提にしたアプリ」を使う

理由：ページサイズや余白が設定可能、フォントサイズが一定

パワーポイントなどプレゼンテーションソフトは不向き

理由：ページサイズや余白の概念が無い、フォントサイズがデフォルト〔初期設定〕では可変的

3) フォント **タイトルや見出しは太く**

細ゴシック体がよい。ユニバーサルデザインからも推奨されている

明朝体は堅苦しく読みにくいことがある

教科書体や楷書体、筆文字、手描き風も場合によって効果的。フォントデータはあります

3. キャプション

1) 目的

資料の名札、直接的な説明

2) アプリ

グラフィックにおなじ

資料点数が多い場合、ワードのラベル印刷機能を使いシールに印刷してハレパネや厚紙ボール紙に貼ると簡単

3) フォント

グラフィックにおなじ

4. 農大口ビー展2022の例

次ページ参照

ロビー展2022直前スケジュール

- 11/30水 展示タイトル決定、展示資料グラフィックの確認、コーナータイトル案、ポスター制作者募集
- 12/1木 グラフィック添削（19時まで）研究室
- 12/2金 グラフィック添削（2時限と1520以降）研究室
- 12/5月 グラフィック出力（3－5時限）実習室
- 12/6火 グラフィック出力（5－6時限）実習室、机ボード輸送（1－3時限で2時間）手伝い募集
- 12/7水 列品（3－5時限）小清水ツーリストセンター現地集合1300、6時限も可
- 12/8木 あれば列品作業。添削と出力（3－5時限）
- 12/9金 あれば列品作業。添削と出力（3－5時限）
- 土日に実習室を使う場合は、警備室に行って鍵の開け閉めを頼む
- 12/10土 オープン9時

グラフィックは事前に必ず教員による添削を受けること。文章、図版、イラスト、写真すべて。

留意点は、①記述内容の正確さ、②引用の仕方、③出典の記載方法、です。

グラフィックやキャプションの出力は、学生のパソコンでおこないます（図書館のは不可）。方法は、①実習室でプリンタにUSB接続、②ドライバをネットからインストール、③印刷、です。

サイズはA3が基本＝用紙に合わせる。長尺紙やクロスはA0＝幅90cm

用紙は、半光沢写真用紙、微光沢写真用紙、厚手クロス、薄手クロス、など色々あります。透明フィルムはありません。必要なら購入します。班で統一が原則。

グラフィックはハレパネに貼るのが原則です。が、色画用紙などを台紙にすることも可能

展示台の長机の天板は、①そのまま使う、②黒色ビロード巻紙を置く、③カラーボードを置く、④その他、です。④の場合、必要なら新規購入します。